

## FAQ

以下、昨年度の募集説明会及び2024年度秋募集の説明会（2024年8月1日実施）に行われた質疑をもとに、FAQを作成しております。

これ以外に、ご不明な点があれば、[info@glafs.u-tokyo.ac.jp](mailto:info@glafs.u-tokyo.ac.jp)までお尋ねください。

※【Q18】～【Q20】9/2追加掲載

**【Q1】** 国費留学生でもプログラムへの応募資格はありますか？また卓越RAでの支援は受けられますか？

**【A】** 国費留学生もプログラムへの応募は可能。国費留学生である期間は卓越RAでの経済的支援は受けられません。

詳しくはGLAFSホームページに掲載の「卓越RA募集要項」をご確認ください。

**【Q2】** 長期履修制度を利用している場合もプログラムへの応募は可能ですか？その場合（休学も含め）の卓越RAの支給期間はどのようになりますか？

**【A】** 長期履修制度を利用されていても、プログラムへの応募は可能。卓越RAは履修の全期間支給ではなく、標準履修年限を上限に支給します。休学中は支給停止。復学後に再開。支給時期は相談可。（修博5年の場合の例：M2分の1年分、D1-3分の3年分の上限4年分を支給）

**【Q3】** 博士進学を希望しているが、修士2年以降に海外留学をした場合、応募資格はありますか？

**【A】** 東大の博士課程に進学（東大に籍をおいたまま）であれば応募条件を満たします。

東大の博士に進学せずに他大学に留学する場合は、応募は認められません。

留学中、東大を休学するケース、留学先との協定で休学しないケースなどありますが、休学中はWINGS卓越RAの経済的支援は支給できません。復学後に支給再開となります。

**【Q4】** 卓越RAの応募資格及び委嘱の選抜基準は？

**【A】** WINGS-GLAFSプログラム生としての合格が応募条件。その他の詳細は卓越RA募集要項をご確認ください。卓越RA（リサーチアシスタント）は指導教員の業務のサポートを行うもので、業務内容に問題がない限り、基本的には委嘱しています。

**【Q5】** プログラムの選抜基準は？

**【A】** WINGS-GLAFSの理念に合致する人。WINGSは修博一貫を支援するプログラムであり、最後まで修了する意思がある方を選抜基準の一つとします。

なお、提出された申請書と面接から、ご本人の資質の高さを複数の教員で総合的に判断します。

ご本人の研究と高齢社会との関係性が必ずしも重視されるわけではありません。高齢社会と全く関係ないような研究でも、どこかでこの世界共通の基盤的課題とつながっていると思いますので、一見全く関係ないような研究をおやりになっても、高齢社会に興味があり、研究遂行能力が高ければ、高く評価されます。

**【Q6】** 面接はオンラインですか？

**【A】** オンライン（Zoom）で行います。

【Q7】 応募申請書には図は入れることが可能ですか？

【A】 応募申請フォームの最後に、図を入れられる設定になっています。

【Q8】 M2 修了時点で必要単位を取り終えていなかった場合、影響することはありますか？

【A】 基本的には D3 までに必要単位を取得していれば問題ないが、必修の通論 1, 2 は基盤的な座学のため、出来れば早めに履修していただきたい。なお、M2 修了時に必要単位未取得を理由に、卓越 RA を減額したケースは今のところありません。

【Q9】 SPRING GX と WINGS-GLAFS プログラムの違いは？

【A】 SPRING GX は博士課程対象。WINGS-GLAFS は修士博士一貫のため修士 1 年が応募対象。SPRING GX は全学一体のプログラム。WINGS-GLAFS は WINGS の中の 1 プログラム。制度が異なるので、必修の要件も異なります。

【Q10】 アルバイトや事業を行っている場合、卓越 RA での経済的支援に影響があるか？

【A】 金額によって支援の対象外になる可能性がありますので、細かい確認が必要な場合は、別途お問い合わせください。

【Q11】 プログラムの HP に掲載されている応募申請書のサンプルと 9/10 に公開される申請書のフォームの形式が（大きく）変わることはありますでしょうか？

【A】 特別に大学からの要請があれば変更する可能性があります、基本的には変更はありません。

【Q12】 面接日は 3 日間用意されていますが、こちらから希望日を指定することは可能でしょうか？

【A】 応募申請書のサンプルに記載のように、希望に合わせて出来るだけ調整するようにいたします。可能な時間を幅広く空けていただけると幸いです。面接はオンラインで 15 分程度を予定しております。

【Q13】 博士課程から別の参画専攻に所属する場合、WINGS-GLAFS への所属は継続されますでしょうか。修士博士と常に同じ専攻に所属していることが条件となるのでしょうか？

【A】 参画専攻から参画専攻への所属変更は認められますが、参画専攻から参画専攻でない専攻に変更になる場合は、参画専攻になっていただくよう、大学上層部での調整が必要ですので、もしそういう可能性がある場合は、必ず早めにご連絡をください。

【Q14】 M1 の S セメスターで、すでにいくつかの必修科目・選択必修科目を習得している場合、GLAFS の修了要件に算入可能でしょうか？

【A】 GLAFS の選択科目になっている場合は、算入可能です。

【Q15】 今年春に他の WINGS に申込して採用されなかった場合は、今回の WINGS-GLAFS への申込は可能なのでしょうか？

【A】 申込可能です。

**【Q16】** 9/28(土)のガイダンスに対面参加が困難な可能性がある場合、どのようになりますでしょうか？

**【A】** ガイダンスの資料を後日共有（録画も予定）します。

## <その他、よくある質問>

**【Q17】** プログラムへの応募時点で、他の奨励金を受給している場合、応募は可能ですか？

**【A】** 修士1年の応募時点で、他の奨励金を受給している場合でも、応募は可能ですし、修士2年から本プログラムの卓越 RA を受給することは可能です。ただし、他の奨学金等との重複受給となる場合は、支給額の制限がある場合がありますので GLAFS ホームページの卓越 RA 募集要項をご確認ください。

**【Q18】** 申請書に添付できる図の数や大きさ、サイズに制限はありますか？太字や下線を引いたりすることはできますか？

**【A】** 応募フォームの最後の確認画面に画像添付欄があります。2枚添付できます。jpg もしくは png で、1枚につき1MBと制限を入れております。

キャプションが必要なものはあらかじめ図に組み込んでください。

図や画像が多い場合は、スライドにまとめていただき保存形式を変更して対応ください。

太字や下線を引くことはできません。

事前にテキストを用意され、コピペいただく場合でも、太字や下線は反映されません。

**【Q19】** 申請書の制限字数で文章の中に英語と日本語が混在している場合の文字数はそのようになりますか？

**【A】** 半角英数字は0.5文字、全角文字は1文字とカウントします。例えば、「GLAFS 応募」の場合は4.5文字になります。改行も文字数にカウントされますので、ご注意ください。

入力すると、残りの文字数が表示されるようになっております。

**【Q20】** 面接での1人あたりの時間と形式はどのような形でしょうか？

**【A】** 面接は、個別にオンライン zoom で10分（自己PR3分／質疑応答7分）です。

※自己PRは自身の研究内容やプログラムの志望動機など。

※スライド使った自己PRも可。